

# ドライブ ユーザガイド

© Copyright 2008 Hewlett-Packard  
Development Company, L.P.

Windows は米国 Microsoft Corporation の米  
国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更される  
ことがあります。HP 製品およびサービスに  
関する保証は、当該製品およびサービスに  
付属の保証規定に明示的に記載されている  
ものに限られます。本書のいかなる内容  
も、当該保証に新たに保証を追加するもの  
ではありません。本書に記載されている製  
品情報は、日本国内で販売されていないも  
のも含まれている場合があります。本書の  
内容につきましては万全を期しております  
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、  
省略に対して責任を負いかねますのでご了  
承ください。

初版：2008 年 8 月

製品番号：487226-291

#### 製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデル  
に共通の機能について説明します。一部の  
機能は、お使いのコンピュータで対応してい  
ない場合もあります。

# 目次

## 1 ドライブの取り扱い

## 2 オプティカルドライブの使用

取り付けられているオプティカルドライブの確認	2
オプティカルディスクの使用 (CD、DVD、およびBD)	3
正しいディスク (CD、DVD、およびBD) の選択	4
CD-R ディスク	4
CD-RW ディスク	4
DVD±R ディスク	4
DVD±RW ディスク	4
LightScribe DVD+R ディスク	4
ブルーレイディスク (BD)	5
CD、DVD、またはBDの再生	6
自動再生の設定	7
DVDの地域設定の変更	8
著作権に関する警告	9
CD、DVD、またはBDのコピー	10
CD、DVD、またはBDの作成または「書き込み」	11
オプティカルディスク (CD、DVD、またはBD) の取り出し	12

## 3 ハードドライブパフォーマンスの向上

ディスクデフラグの使用	13
ディスククリーンアップの使用	13

## 4 [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認	15
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用	16

## 5 ハードドライブの交換

## 6 トラブルシューティング

オプティカルディスクトレイが開かず、CD、DVD、またはBDを取り出せない場合	21
コンピュータがオプティカルドライブを検出しない場合	22
ディスクが再生できない場合	23
ディスクが自動的に再生されない場合	24
DVDの動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合	24
外付けディスプレイにDVDの動画が表示されない場合	25

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合 .....	25
DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合 .....	25
デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合 .....	26
Microsoft®デバイス ドライバの入手 .....	26
HP デバイス ドライバの入手 .....	27

<b>索引 .....</b>	<b>28</b>
-----------------	-----------

# 1 ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピュータやドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピュータをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているか、スリープ状態なのか、ハイパネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

## 2 オプティカルドライブの使用


お使いのコンピュータには、コンピュータの機能を拡張するオプティカルドライブが搭載されています。コンピュータに搭載されているデバイスの種類を確認して、機能を調べてください。オプティカルドライブを使用すると、データディスクの読み取り、音楽の再生、映画の鑑賞ができます。お使いのコンピュータにブルーレイディスク（BDとも呼ばれます）ドライブが内蔵されている場合は、ディスクからHD対応ビデオを再生することもできます。

### 取り付けられているオプティカルドライブの確認


[スタート]→[コンピュータ]の順に選択します。

オプティカルドライブなどの、お使いのコンピュータに搭載されているデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかのドライブが搭載されている場合があります。

- DVD±RW スーパーマルチ2層記録対応（DL）LightScribe ドライブ

 **注記：** 2層記録ディスクには、1層式のディスクよりも多くのデータを保存できます。ただし、このドライブで作成された2層記録ディスクは、既存の多くの1層式DVDドライブおよびプレーヤに対応していない可能性があります。


- ブルーレイディスク（BD）R/RE スーパーマルチドライブ
- スーパーマルチDVD±R/RW対応ブルーレイディスク（BD）ROMドライブ（2層記録（DL）対応）
- LightScribe/スーパーマルチDVD±R/RW対応ブルーレイディスク（BD）ROMドライブ（2層記録（DL）対応）

 **注記：** 一覧には、お使いのコンピュータでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。

## オプティカル ディスクの使用（CD、DVD、および BD）

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）に対応しています。これらのディスクは、音楽、写真、動画などの情報を保存します。DVD および BD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。お使いのオプティカル ドライブがブルーレイ ディスク（BD）ドライブであれば、BD の読み取りもできます。


 **注記：** 一覧には、お使いのコンピュータでサポートされていないドライブが含まれている場合があります。また、サポートされているオプティカル ドライブすべてが下記の一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、一部のオプティカル ドライブでは、オプティカル ディスクへの書き込みもできます。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD + R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み	BD-R/RE への書き込み
DVD±RW スーパーマルチ DL（2層記録対応） LightScribe ドライブ	可	可	可	不可	不可
BD-R/RE スーパーマルチ ドライブ	可	可	可	不可	可
スーパーマルチ DVD±R/RW 対応 BD-ROM（2層記録（DL）対応）	可	可	可	不可	不可
LightScribe/スーパーマルチ DVD±R/RW 対応 BD-ROM ドライブ（2層記録（DL）対応）	可	可	可	可	不可

## 正しいディスク（CD、DVD、およびBD）の選択

オプティカルドライブは、オプティカルディスク（CD、DVD、およびBD）に対応しています。デジタルデータの保存に使用されるCDは商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVDおよびBDは、主に動画やソフトウェア、データのバックアップのために使用します。DVDおよびBDはCDと同じ形態ですが、CDよりはるかに大きい容量を扱うことができます。

 **注記：** お使いのコンピュータのオプティカルドライブによっては、この項目で説明されている一部のオプティカルディスクに対応していない場合もあります。

### CD-R ディスク

CD-R（一度だけ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザとファイルを共有したりするときに使用します。一般的な用途は以下のとおりです。

- 大きなプレゼンテーションの配布
- スキャンしたデジタル写真、ビデオクリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽CDの作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などを永続的なアーカイブとして保存
- ファイルを移動してハードドライブを解放し、ディスクの空き領域を増やす

データを記録した後は、データの削除や上書きができません。

### CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込み可能なCD）を使用すると、頻繁に更新する必要がある大きなプロジェクトを保存できます。一般的な用途は以下のとおりです。

- 大きな文書やプロジェクトファイルの展開と保存
- 作業ファイルの運搬
- ハードドライブファイルの週次バックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの連続更新

### DVD±R ディスク

空のDVD±Rを使用すると、大量の情報を永続的に保存できます。データを記録した後は、データの削除や上書きができません。

### DVD±RW ディスク

以前に保存したデータの削除や上書きをする必要がある場合は、DVD+RWディスクを使用します。このディスクは、データファイルの書き込みや、変更できないCDまたはDVDに書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。

### LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+Rディスクを使用すると、データやホームビデオ、写真の共有と保存ができます。このディスクは、ほとんどのDVD-ROMドライブやDVDビデオプレーヤでの読み取りに対応してい




ます。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

## ブルーレイ ディスク (BD)

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための HD 対応オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式 BD で 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上です。2 層式 BD では 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くになります。


一般的な用途は以下のとおりです。

- 大量データの保存
- HD 対応動画

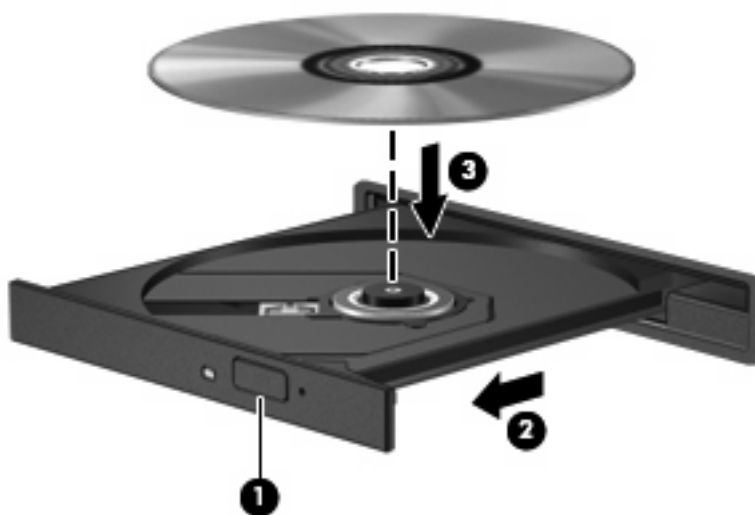
 **注記：** ブルーレイは新しい技術を採用した新しいフォーマットのため、ディスク、デジタル接続、互換性、およびパフォーマンスに関する問題が発生する可能性があります。製品自体の欠陥ではありません。すべてのシステムで問題なく再生できるという保証はありません。

## CD、DVD、またはBDの再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン(1)を押して、ディスクトレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します(2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。


 **注記：** ディスクトレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます(3)。



6. ディスクトレイを閉じます。


自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログボックスが開きます。メディアのコンテンツ(内容)をどのように扱うかについての選択を求められます。

 **注記：** 最適な状態で使用するため、BDの再生中はACアダプタを外部電源に接続してください。

## 自動再生の設定

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]の順に選択します。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [既定を選択する]をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類に対し使用可能なオプションのどれかを選択します。
4. [保存]をクリックします。

---

 **注記：** 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

---

## DVD の地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。


△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コンピュータ]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[デバイス マネージャ]をクリックします。

 **注記：** Windows®には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号 (+) をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域]タブをクリックして、設定を変更します。
6. [OK]をクリックします。

## 著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** データの損失やディスクの破損を防ぐため、以下のガイドラインを参考にしてください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続します。コンピュータがバッテリー電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用するディスク ソフトウェア以外で開いているすべてのプログラムを閉じます。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。その情報をハードドライブに保存し、次にハードドライブからコピー先のディスクに書き込みます。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。


☞ **注記：** コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

## CD、DVD、またはBDのコピー

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink DVD Suite] (CyberLink DVD スイート) → [Power2Go]の順に選択します。
2. コピーするディスクをオプティカルドライブに挿入します。
3. 画面右下の[Copy] (コピー) をクリックします。
4. 確認のメッセージが表示されたら、オプティカルドライブからコピー元のディスクを取り出し、空のディスクをドライブに挿入します。

データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

---

 **注記:** BD への書き込み中はコンピュータを動かさないでください。

---

## CD、DVD、またはBDの作成または「書き込み」

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータプログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

コンピュータにCD-RW、DVD-RW、DVD±RW、またはBD-R/RE オプティカルドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]や[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 および WAV 音楽ファイルなどのオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[MyDVD]を使用します。

CD、DVD、またはBDに書き込むときは、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、すべてのプログラムを終了してください。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

📖 **注記：** [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。
- BD への書き込み中はコンピュータを動かさないでください。

CD、DVD、またはBDにデータを書き込むには、以下の手順で操作します。

1. 元のファイルをハードドライブ上のフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空のディスクをオプティカルドライブに挿入します。
3. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。


📖 **注記：** サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

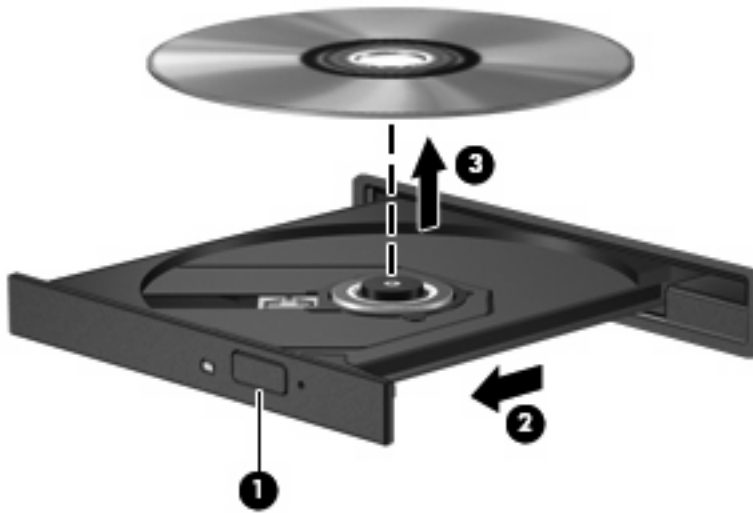
4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、または動画）を選択します。
5. [スタート]を右クリックしてから[エクスプローラ]をクリックし、元のファイルが保存されているフォルダに移動します。
6. フォルダを開き、空のディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

詳しい手順については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

## 光学ディスク（CD、DVD、またはBD）の取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します (2)。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



3. ディスク トレイを閉じて、取り出したディスクを保護ケースに入れます。



## 3 ハードドライブ パフォーマンスの向上

### ディスク デフラグの使用


コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグは、いったん開始すれば動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、ディスク デフラグの完了まで1時間以上かかることがあります。夜間やコンピュータにアクセスする必要のない時間帯などに実行されるように設定するとよいでしょう。

少なくとも1か月に1度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは1か月に1度実行されるように設定することもできますが、手動でいつでもコンピュータのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [今すぐ最適化]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

### ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。


---

## 4 [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、入出力要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピュータを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピュータを移動した場合

これらの動作の実行後は、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によって短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

 **注記：** ハードドライブ ベイのハードドライブは[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で保護されます。別売のドッキング デバイスに取り付けられているハードドライブまたは USB コネクタに接続されているハードドライブは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]では保護されません。


詳しくは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

## [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認

コンピュータのドライブランプがオレンジ色に変化して、ハードドライブベイのドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているかどうかを確認するには、[スタート]→[コントロールパネル]→[モバイルコンピュータ]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。


[Windows モビリティ センター]には、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態も表示されません。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェックマークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、白い斜線がハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ドライブが一時停止している場合は、黄色の月がハードドライブアイコンの上に重なって表示されます。

 **注記：** [Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の手順で操作します。


1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

 **注記：** ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、[許可]をクリックします。

2. [システムトレイ上のアイコン]の行で、[表示]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合、コンピュータは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 以下の注記で示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

 **注記：** [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合でも、コンピュータがバッテリー電源で動作しているときに完全なロー バッテリー状態になった場合は、ハイバネーションを開始できるようになります。


- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリー アラームを有効にできない

コンピュータを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

# [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアでは、以下のタスクを実行できます。

- [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]を有効または無効にする。

 **注記：** ユーザの権限によっては、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の有効/無効を切り替えられない場合があります。Administrator グループのメンバは Administrator 以外のユーザの権限を変更できます。

---

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを起動して設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

---

## 5 ハードドライブの交換

△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐために、以下の点に注意してください。

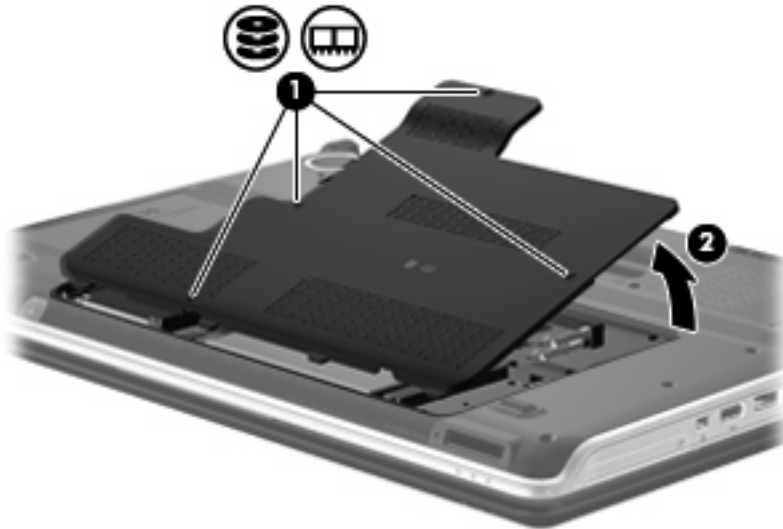
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

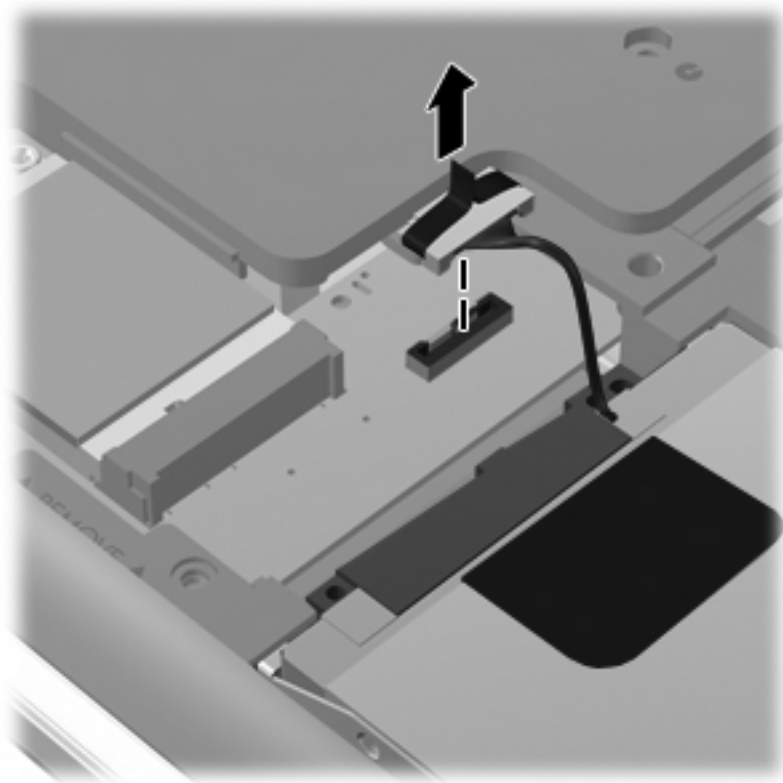
ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピュータの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. コンピュータを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピュータからバッテリーを取り外します。
7. ハードドライブ ベイを手前に向けた状態で、ハードドライブ カバーの 4 つのネジ (1) を緩めます。

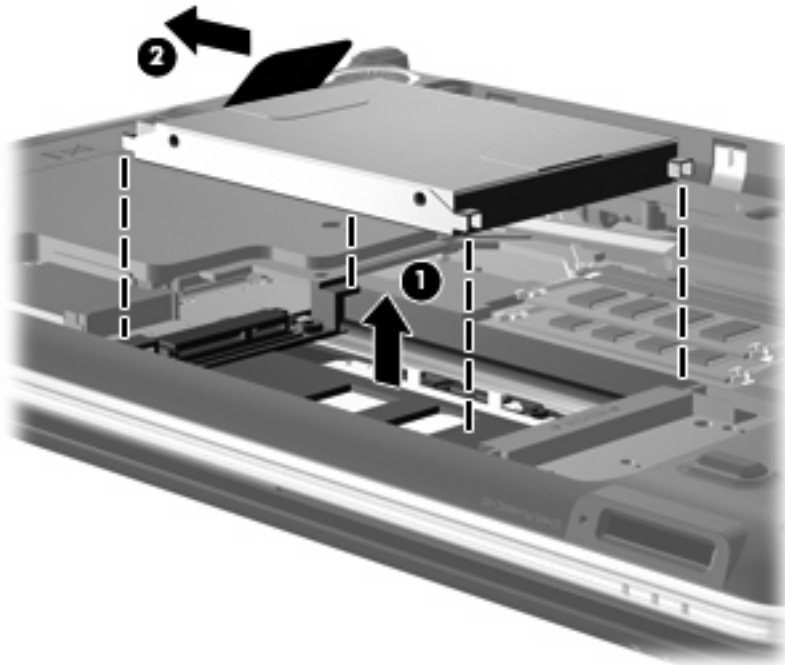
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて (2)、コンピュータから取り外します。



9. ハードドライブ コネクタを取り外します。

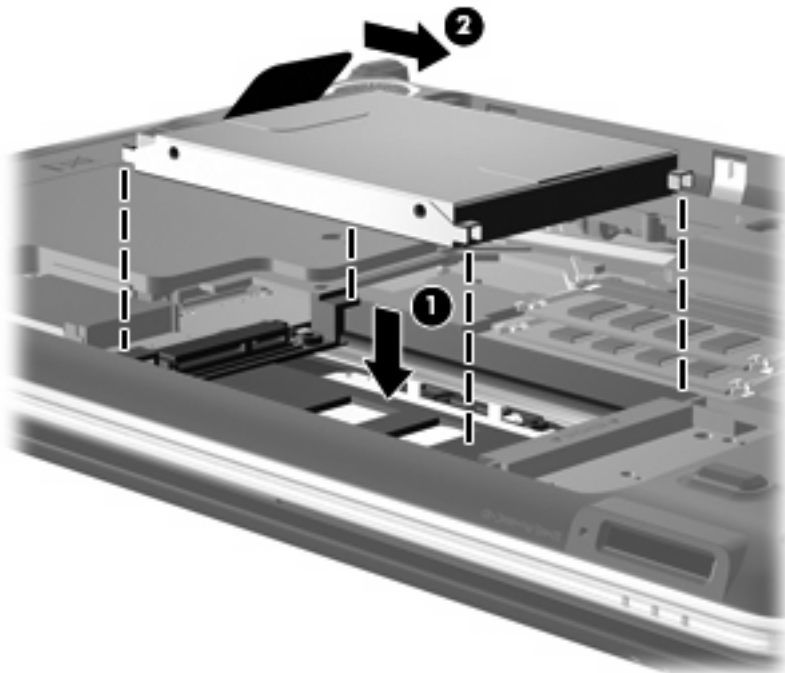


10. ハードドライブ タブを左方向に引き (1)、ハードドライブをコンピュータから取り出します (2)。

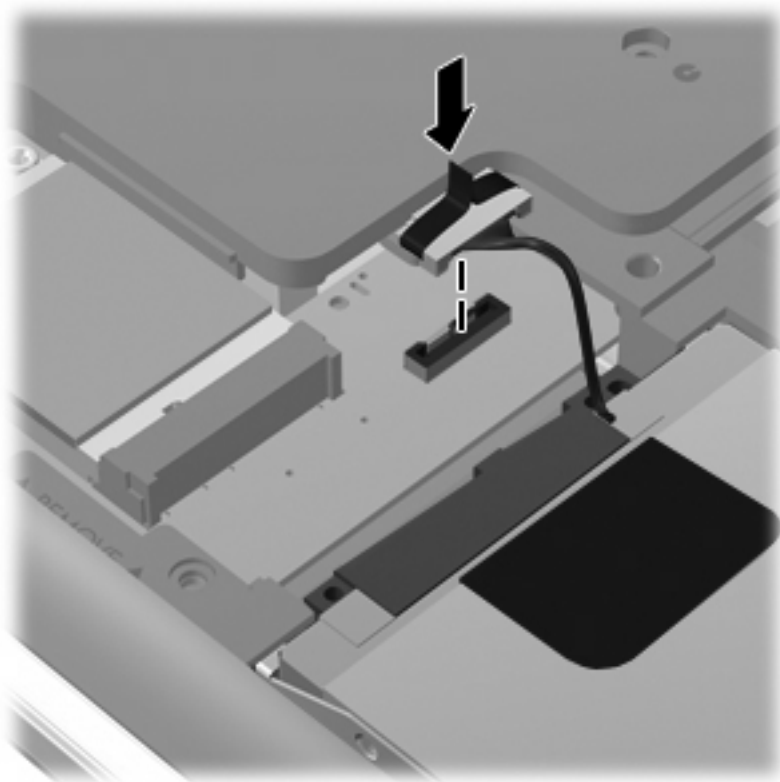


ハードドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。

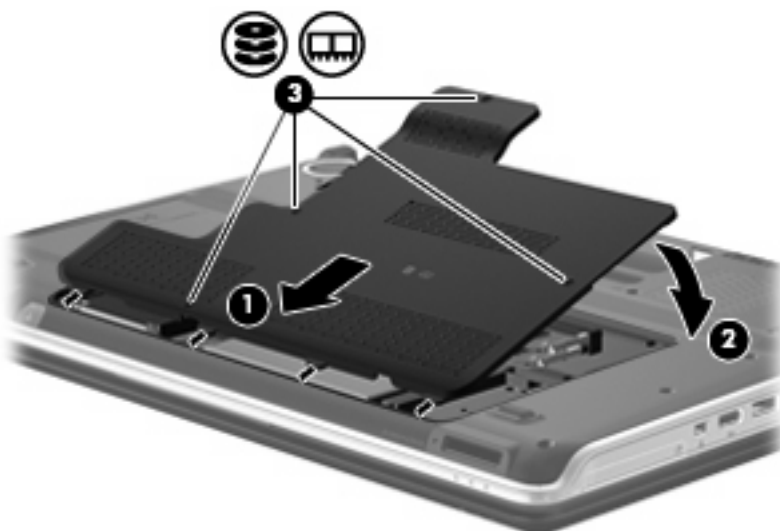
1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。
2. 確実に収まるまでハードドライブを右方向にスライドさせます (2)。



3. ハードドライブ コネクタを接続しなおします。



4. ハードドライブ カバーのタブ (1) を、コンピュータのくぼみに合わせます。
5. カバーを閉じます (2)。
6. ハードドライブ カバーの4つのネジ (3) を締めます。






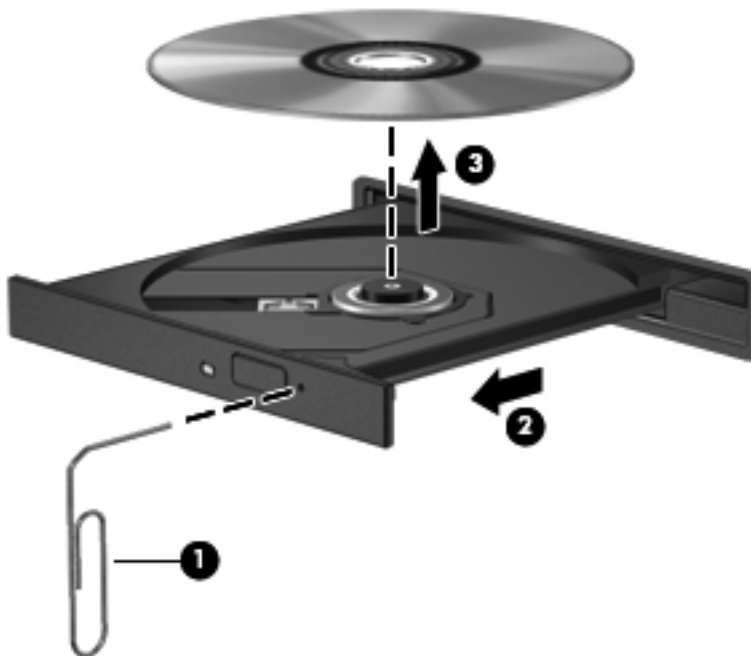
## 6 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

### 光学ディスクトレイが開かず、CD、DVD、またはBDを取り出せない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。


 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



4. ディスクトレイを閉じて、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

## コンピュータがオプティカルドライブを検出しない場合

コンピュータがオプティカルドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャ]を使用してデバイスの問題を解決し、デバイス ドライバを更新するか、アンインストールするか、無効にします。

1. オプティカルドライブからディスクを取り出します。
  2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[デバイス マネージャ]の順に選択します。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら[続行]をクリックします。
  3. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（-）がすでに表示されている場合を除き、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号（+）をクリックします。オプティカルドライブの一覧を確認します。
  4. オプティカルドライブの一覧を右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
    - ドライバの更新
    - デバイスの無効化
    - デバイスのアンインストール
    - ハードウェア変更のスキャン：Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要なドライバをすべてインストールします。
    - [プロパティ]をクリックして、デバイスが正しく動作しているかどうかを確認します。その後、状況に応じて以下の操作を行います。
      - 問題を解決するには、[トラブルシューティング]をクリックします。
      - デバイスのドライバの更新、ロールバック、無効化、またはアンインストールを行うには、[ドライバ]タブをクリックします。
- 
-  **注記：** ドライバを更新した後でデバイスに問題が発生した場合は、[ドライバを元に戻す]オプションをクリックします。このオプションを使用すると、以前にインストールされたドライバにロールバックします。

## ディスクが再生できない場合

- CD、DVD、またはBDを再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD、DVD、またはBDを再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを適切に挿入していることを確認してください。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃してください。ディスクは中央から端の方に向かって拭きます。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店やCDショップなどで入手可能なオプティカルディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープモードを無効にします。

ディスクの再生中にはハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると、以下のようになります。

- 再生が再開します。

または

- マルチメディアプログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディアプログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してからの再起動が必要になることもあります。
- 以下の操作を行って、システムリソースを増やします。
  - プリンタやスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステムリソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。16ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを16ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。
    1. デスクトップ上のアイコンを除く任意の場所を右クリックし、**[個人設定]**→**[画面の設定]**の順に選択します。
    2. **[画面の色]**を**[中 (16 ビット)]**に設定します。

## ディスクが自動的に再生されない場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]の順にクリックします。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [保存]をクリックします。


これで、CD、DVD、またはBD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されません。

## DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。
    1. デスクトップ上のアイコンを除く任意の場所を右クリックし、[個人設定]→[画面の設定]の順に選択します。
    2. [画面の色]を[中 (16 ビット)]に設定します。
  - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話デバイスなどの外付けデバイスを取り外します。

## 外付けディスプレイに DVD の動画が表示されない場合

1. コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、**fn + f4** を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニタの設定を行います。
  - a. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。
  - b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

 **注記：** 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**を参照してください。

## ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープモードとハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- **[デバイス マネージャ]**の**[DVD/CD-ROM ドライブ]**カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。


## DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

[MediaSmart]を使用して DVD を再生してください。[MediaSmart]はコンピュータにインストールされています。また、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/>からも入手できます。

## デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合

デバイス ドライバを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. オプティカルドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]をクリックし、[検索の開始]ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
3. 結果の枠内で、[デバイス マネージャ]をクリックします。ユーザアカウント制御のウィンドウが表示されたら[続行]をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（-）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールおよび再インストールするドライバの種類（DVD/CD-ROM やモデムなど）の横のプラス記号（+）をクリックします。
5. 表示されているドライバをクリックし、delete キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバは削除するが、コンピュータは再起動しないことを確認します。削除するその他のドライバについて手順を繰り返します。
6. [デバイス マネージャ]ウィンドウのツールバーで[ハードウェア変更のスキャン]アイコンをクリックします。Windows は、お使いのシステムから取り付けられているハードウェアをスキャンし、ドライバを必要とするすべてのハードウェアに対して初期設定のドライバをインストールします。

 **注記：** コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、開いているすべてのファイルを保存し、再起動して続行します。

7. 必要に応じて[デバイス マネージャ]を再度開き、ドライバが一覧に表示されていることを確認します。
8. デバイスを使用します。

初期設定のデバイス ドライバをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合、以下の項目の手順に沿ってドライバを更新する必要があります。

### Microsoft®デバイス ドライバの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバを入手できます。この Windows の機能は、ハードウェア ドライバ、Windows オペレーティング システム、およびその他の Microsoft 製品に関する更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開き、<http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx> に移動します。
2. [セキュリティ&アップデート]をクリックします。
3. [Microsoft Update]をクリックしてコンピュータのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら[続行]をクリックします。

5. **[変更する]**をクリックし、**[Microsoft Update]**が Windows オペレーティング システムとその他の Microsoft 製品へのアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、お使いのコンピュータを再起動します。

## HP デバイス ドライバの入手

HP デバイス ドライバを入手するには、以下のどちらかの手順で操作します。

[HP Update] (HP アップデート) を使用するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Update]**の順に選択します。
2. [HP Welcome] (HP へようこそ) 画面で、**[Settings]** (設定) をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]** (次へ) をクリックして、HP ソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開き、<http://www.hp.com/support/>に移動します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
4. **enter** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

# 索引

- B**  
BD  
書き込み 11  
コピー 10  
再生 6  
取り出し 12
- C**  
CD  
書き込み 11, 25  
コピー 10  
再生 6  
取り出し 12  
CD ドライブ 2
- D**  
DVD  
書き込み 11, 25  
コピー 10  
再生 6  
地域設定の変更 8  
取り出し 12  
DVD±RW スーパー マルチ DL (2 層記録対応) LightScribe ドライブ 3  
DVD ドライブ 2  
DVD の地域設定 8
- H**  
HP ProtectSmart Hard Drive Protection 14
- L**  
LightScribe/スーパー マルチ DVD ±R/RW 対応 BD-ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) 3
- お**  
オプティカル ディスク  
取り出し 12
- オプティカル ドライブ 2
- く**  
空港のセキュリティ装置 1
- し**  
自動再生 7
- す**  
スーパー マルチ DVD±R/RW 対応 BD-ROM (2 層記録 (DL) 対応) 3
- そ**  
ソフトウェア  
ディスク クリーンアップ 13  
ディスク デフラグ 13
- ち**  
地域コード、DVD 8  
著作権に関する警告 9
- て**  
ディスク クリーンアップソフトウェア 13  
ディスク デフラグ ソフトウェア 13  
ディスク パフォーマンス 13  
デバイス ドライバ  
HP ドライバ 27  
Microsoft ドライバ 26
- と**  
ドライブ  
オプティカル 2  
取り扱いについて 1  
ハード 17, 19  
も参照「ハードドライブ」、「オプティカルドライブ」も参照  
ドライブ ランプ 15
- トラブルシューティング  
DVD 動画の再生 24  
HP デバイス ドライバ 27  
Microsoft ドライバ 26  
オプティカル ディスク トレイ 21  
オプティカル ドライブの検出 22  
外付けディスプレイ 25  
ディスクの書き込み 25  
ディスクの再生 23, 24  
デバイス ドライバ 26
- は**  
ハードドライブ  
HP ProtectSmart Hard Drive Protection 14  
取り出し 17  
取り付け 17, 19
- ふ**  
ブルーレイ ディスク R/RW スーパー マルチ ドライブ 3
- め**  
メンテナンス  
ディスク クリーンアップ 13  
ディスク デフラグ 13
- ら**  
ランプ、ドライブ 15



